

# 第1回地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会

平成28年5月31日（火）  
午前9時30分～11時30分  
特別第一会議室（別館9階）

## 次 第

### 1 開会

- (1) 知事挨拶
- (2) 矢野委員長挨拶
- (3) 新任委員挨拶

### 2 議事

- (1) 副委員長選出
- (2) 報告
  - ・平成27年度県総合教育会議の成果
  - ・平成28年度の検討事項及び年間スケジュール（予定）
- (3) 意見交換
  - ・高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用
- (4) その他

### 3 閉会

#### <配布資料>

資料1 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会設置要綱

資料2 平成27年度県総合教育会議の成果

資料3 平成28年度の検討事項及び年間スケジュール（予定）

資料4 高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用に関する論点

参考資料1 高等教育機関等の連携

参考資料2 高等教育機関等の知的・人的資源の活用

別冊資料 ・ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

・しずおかキャンパスガイド

・静岡県立大学、静岡文化芸術大学パンフレット

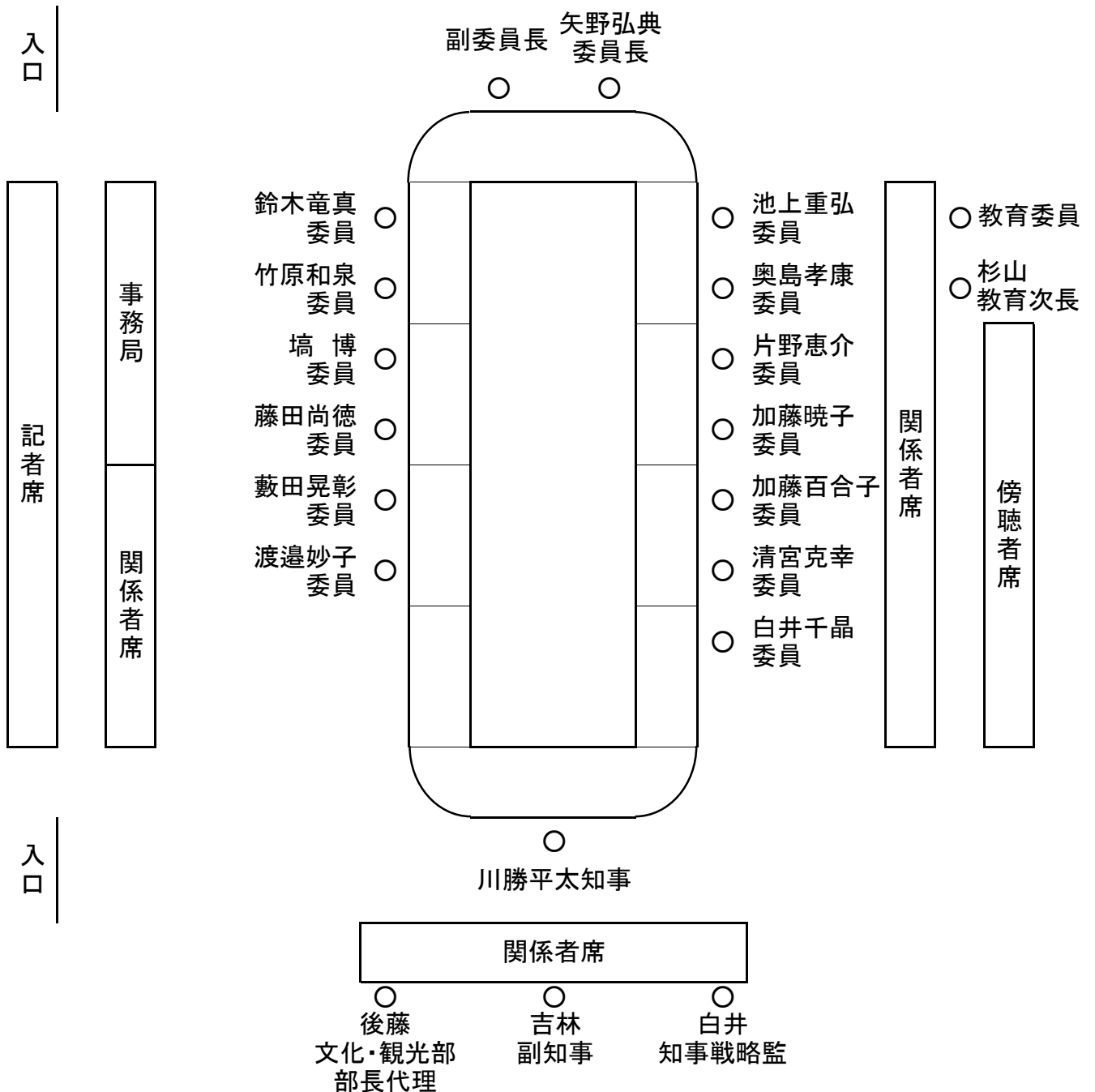
・ふじのくに地域・大学コンソーシアムパンフレット

・県立研究機関等のパンフレット

# 第1回地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会 座席表

日時 平成28年5月31日(火)午前9時30分～

場所 別館9階特別第一会議室



地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会委員一覧

(委員長、以下 50 音順、敬称略)

氏 名	役 職
矢野 弘典 (委員長)	(一社) ふじのくにづくり支援センター理事長
池上 重弘	静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長
奥島 孝康	(公財) ボーイスカウト日本連盟理事長
片野 恵介	青年農業士
加藤 暁子	日本の次世代リーダー養成塾専務理事、事務局長
加藤 百合子	農業シンクタンク「エムスクエア・ラボ」代表
清宮 克幸	ラグビートップリーグヤマハ発動機ジュビロ監督
後藤 康雄	(一社) 静岡県商工会議所連合会会長
白井 千晶	静岡大学人文社会科学部教授
鈴木 竜真	ふじのくにづくり学生研究会
竹原 和泉	横浜市立東山田中学校学校運営協議会会長
仲道 郁代	ピアニスト、桐朋学園大学音楽学部教授
埴 博	藤枝明誠中学校・高等学校校長
藤田 尚徳	株式会社なすび専務取締役
マリ クリスティーヌ	異文化コミュニケーター
宮城 聰	(公財) 静岡県舞台芸術センター芸術総監督
藪田 晃彰	日光水産株式会社代表取締役
渡邊 妙子	(公財) 佐野美術館館長

## 資料 1

### 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会設置要綱

#### (設置)

第1条 静岡県が掲げる「有徳の人」の育成に向け、「文・武・芸三道鼎立」を推進し、地域ぐるみ・社会総がかりの理想の教育を実現するため、地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 知事が招集する総合教育会議での協議事項に関する事項
- (2) その他地域ぐるみ・社会総がかりで行う教育に関する事項

#### (組織)

第3条 委員会は、20人以内の委員で組織する。

- 2 委員は、学識経験者、学校教育関係者等のうちから、知事が委嘱する。

#### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠の委員の任期は前任者の残任期間とし、増員した委員の任期は現任者の残任期間とする。

#### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、知事が指名する。
- 3 副委員長は、委員長が指名する。
- 4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 6 委員長は、必要に応じ第3条に定める委員以外の者の出席を求めることができる。

#### (会議)

第6条 委員会の会議は、知事が招集し、委員長が議長となる。

#### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、静岡県文化・観光部総合教育局総合教育課において処理する。

#### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成27年4月23日から施行する。

## 平成 27 年度県総合教育会議の成果

## 1 ふじのくに「有徳の人」づくり大綱の策定

総合教育会議での協議を経て、2月23日に本県教育の目標や施策の基本方針を示す「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」を策定した。

## ◎ 本県教育の基本理念

“ふじのくに”の未来を担う「有徳の人」の育成

## ◎ 「有徳の人」づくりに向けた基本姿勢

- ・文武芸三道の鼎立の実現
- ・生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境の実現
- ・地域ぐるみ、社会総がかりの教育の実現

## ◎ 重点取組方針

- ・教職員及び高校生の国際化の推進、地域人材の活用 など8項目

## 2 平成 27 年度県総合教育会議 合意事項

## (1) 教職員及び高校生の国際化

- 高校生の海外修学旅行等と教職員の海外研修の更なる充実
- 本県に在住する外国人の児童生徒等との交流促進
- 本県の文化や風土をよく学び、その魅力を世界へ発信することができる国際人の育成

## (2) 社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用

- 「ふじのくに『有徳の人』育成バンク（仮称）」の構築
- 「地域で部活動を支援する地域スポーツクラブ」の設立

## (3) 新しい実学の奨励

- 地域学を基盤とし地域等と連携した「新しい実学」の充実
- 「新しい実学」に対する社会的評価の向上
- 「新しい実学」に関する教育体系の更なる充実

## (4) 大学、大学院の充実

- 県内の大学、大学院の魅力向上
- 小・中・高校と大学、大学院の連携の推進

### 3 合意事項の事業化状況

#### (1) 教職員及び高校生の国際化

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	青少年の国際交流推進事業 【教育政策課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中青年代表交流発展事業</li> <li>・モンゴル高校生相互交流事業</li> <li>・モンゴル教員交流事業</li> <li>・日台高校生産業技術交流事業 等</li> </ul>	18,489
2	外国人児童生徒トータルサポート事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人児童生徒相談員の配置</li> <li>・外国人児童生徒スーパーバイザーの配置</li> <li>・トータルサポート事業研修会の開催 等</li> </ul>	10,018
3	ふじのくにグローバル人材育成基金積立金 【教育政策課】	県拠出金及び民間からの寄附金により基金を創設	155,200
4	グローバル人材育成事業 【高校教育課】	創設した基金を財源として、高校生等の海外留学への支援、海外インターンシップの実施等	20,000
5	補習等のための指導員等派遣事業 【高校教育課】	外国人生徒への学習指導の実施等	18,480
6	世界にはばたく人材育成事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関と連携した英語指導力向上事業</li> <li>・スーパースーパーグローバルハイスクールの指定 等</li> </ul>	34,700
7	外国人の子ども育成支援事業 【多文化共生課】	外国人児童の不就学を防ぎ、社会で活躍する人材を育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援人材の育成、人材バンク構築</li> <li>・外国人の子ども育成支援に係る相談業務等</li> </ul>	4,000

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
8	国際交流員（CIR）の活用 【多文化共生課】	国際交流員が県内小中高校等へ出張し、交流員の母国の文化や暮らしを子供たちに紹介	132
9	私立小中高校経常費助成 【私学振興課】	特別配分枠を設け、国際交流活動や外国人教員の雇用等の取組に応じて加算	13,799,500
10	私立各種学校運営費助成 【私学振興課】	義務教育に準じる教育を行う外国人学校の運営費助成	22,500
11	空港定期便拡充促進事業（うち教育旅行委員会関係経費） 【空港利用促進課】	富士山静岡空港利用促進協議会教育旅行委員会において、教育旅行による富士山静岡空港の利用促進を図るための経費 ・教育旅行調査団の派遣 等	3,000
12	空港定期便拡充促進事業（うち教育旅行促進事業） 【空港利用促進課】	教育旅行のために富士山静岡空港発着便を利用した学校等に対する支援 ・富士山静岡空港教育旅行利用促進事業費補助金	11,000

## (2) 社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	生徒指導等推進事業 (小・中) 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの配置・派遣</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの配置</li> <li>・外国人児童生徒相談員等の配置 等</li> </ul>	433,700
2	小中学校学習支援 事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び方支援非常勤講師の配置</li> <li>・学び方支援員サポーターの配置</li> <li>・学校図書館アドバイザーの配置 等</li> </ul>	304,700
3	しずおか型コミュニティ・ スクール推進事業 【義務教育課】	<p>地域との連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査、研究事業の実施</li> <li>・モデル事業を実施</li> </ul>	11,400
4	生徒指導等推進事業費 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの配置</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの配置 等</li> </ul>	47,300
5	補習等のための指導 員等派遣事業費 【高校教育課】	放課後の学習指導や外国人生徒への日本語の指導等を実施	18,480
6	学校支援地域本部等推 進事業 【社会教育課】	学校支援地域本部の設置や放課後子ども教室の実施を促進し、地域住民の参画を得て、地域ぐるみで子どもを育む体制を整備	50,000
7	「読書県しずおか」 づくり総合推進事業 (読書アドバイザー) 【社会教育課】	地域の読書ボランティアリーダーや、学校や図書館とボランティアをつなぐコーディネーター等として活躍する人材を養成	251



番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
8	みんながつながる 家庭教育推進事業 (家庭教育支援員) 【社会教育課】	親同士の支え合いや、親と地域の人々がつな がることを支援する家庭教育支援員を養成	4,936
9	家庭教育支援情報 発信事業 【社会教育課】	正しく安全なネット利用の仕方について助 言でき、家庭で話し合っ てルールを決める ことの大切さを保護者に伝えるアドバイザーを養成	1,485
10	スポーツ人材活用推 進事業(人材バンク) 【健康体育課】	地域の人材を有効活用するためにスポーツ 指導者の人材バンクを作成し、学校や社会 教育のニーズに応じて活動し、スポーツの 多様化と充実を図る	81,150
11	地域スポーツクラブ 推進事業 【健康体育課】	中学生、高校生のスポーツ活動のニーズに 応えるため、自治体が地域の企業や大学等 と連携して支援する仕組みづくりを、モデ ル事業として磐田市で実施	15,000
12	県民啓発強化事業 【危機情報課】	各危機管理局等の職員による防災出前講座 を実施(予算額の内数)	(46,823)
13	県立美術館 資料・普及事業 【県立美術館】	学芸員の学校における鑑賞事業として、美 術館の概要や展覧会の紹介、レプリカやア ートカードを使用した鑑賞授業を実施	530

### (3) 新しい実学の奨励

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	実学推進フロンティア事業 【高校教育課】	・スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定 ・産業界からの特別教諭の招請 等	43,000
2	地域産業を支える実学奨励事業 【高校教育課】	・「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」の開催 ・最新設備の活用による実践的専門教育の実施	123,500
3	高大連携推進事業 【大学課】	・高大連携推進連絡会議の開催 ・高校・大学合同教員研究会の開催	1,400
4	私立小中高校経常費助成 【私学振興課】	特別配分枠を設け、社会人教員の活用や職業体験、ボランティア等の取組に応じ加算	13,799,500
5	介護のしごと魅力向上応援事業費（うち介護の魅力発信事業） 【介護保険課】	「ふじのくにケアフェスタ」において、東海地区高校生介護技術コンテストに出場した高校生による介護技術デモンストラーションを実施	22,000
6	技能の場力強化事業 【職業能力開発課】	・技能マイスターを学校へ派遣し、講話・実演等を行う出前講座の実施 ・技能五輪全国大会・若年者ものづくり競技大会選手の育成強化 等	23,200
7	職業能力開発総合推進事業 【職業能力開発課】	第10次職業能力開発計画の策定に合わせ技術専門校の高度化や高校、大学等との連携を検討	800
8	建設産業担い手確保・育成対策支援事業 【建設業課】	建設産業への理解促進の取組（建設現場体感見学会、親子インフラツーリズム 等）	2,500

#### (4) 大学、大学院の充実

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	高校生アカデミック チャレンジ事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での研究活動の実施</li> <li>・国際科学オリンピック等への参加促進等</li> </ul>	6,800
2	静岡県立大学支援 事業 【大学課】	静岡県公立大学法人の運営に係る経費に対して運営費交付金等を交付	5,007,000
3	静岡文化芸術大学 支援事業 【大学課】	公立大学法人静岡文化芸術大学の運営に係る経費に対して運営費交付金等を交付	1,493,000
4	ふじのくに学術振興 事業 【大学課】	コンソーシアムへの支援や学術フォーラムの開催、留学生への支援など大学間連携の推進や学術の振興	40,200
5	外国人留学生 受入強化事業 【大学課】	海外の高校生に県内大学等の魅力を直接伝えることにより、県内大学等への外国人留学生の受入を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスツアー</li> <li>・大学の講義の模擬体験 等</li> </ul>	3,200
6	高大連携推進事業 【大学課】	高大連携推進連絡会議や高校・大学合同教員研究会の開催など高校と大学の連携した取組を推進	1,400
7	東静岡周辺地区 「文化力の拠点」 形成検討事業 【地域振興課】	東静岡駅南口県有地への「文化力の拠点」の形成に向けた取組の中で、コンソーシアムの拠点機能や外国人留学生の受入機能の導入などを検討	30,000

(参考)

ふじのくにグローバル人材育成基金積立金・グローバル人材育成事業

(教育政策課・高校教育課)

1 要旨

国内外で活躍できるグローバル人材の育成を社会総がかりで支援するため、県拠出金及び寄附金により「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、県内の高校生及び教職員の海外留学・海外研修等を促進する。

2 基金の概要

(単位：千円)

基金名	区 分	H28 予算		H28 年度末 残 高
		積立	取崩	
ふじのくに グローバル 人材育成基金	県拠出金	110,000	20,000	135,200
	寄附金、運用益	45,200		
計		155,200	20,000	135,200

3 平成 28 年度事業計画 (20,000 千円)

5 年間で 900 人の高校生及び教職員の海外留学等を支援する。

区 分		内 容
海外体験 促進	長期留学	海外の教育機関等で語学などの専門分野の留学を体験 【期間】 1 年程度
	県内大学との連携による留学	県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
	短期留学	学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
教職員の海外研修		教職員が海外での教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を実施 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
「グローバルハイスクール」研究指定		学校の特色を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定 【指定校】 1 校
海外インターンシップ		県内中小企業の海外工場における就労体験等を実施 【対象】 専門高校等の生徒 【国内研修】 2 日間 【海外就労体験】 3 泊 4 日
ものづくり等の世界大会参加		ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加 【対象】 専門高校等の生徒

(参考)

## 外国人の子ども育成支援事業

(多文化共生課)

### 1 要旨

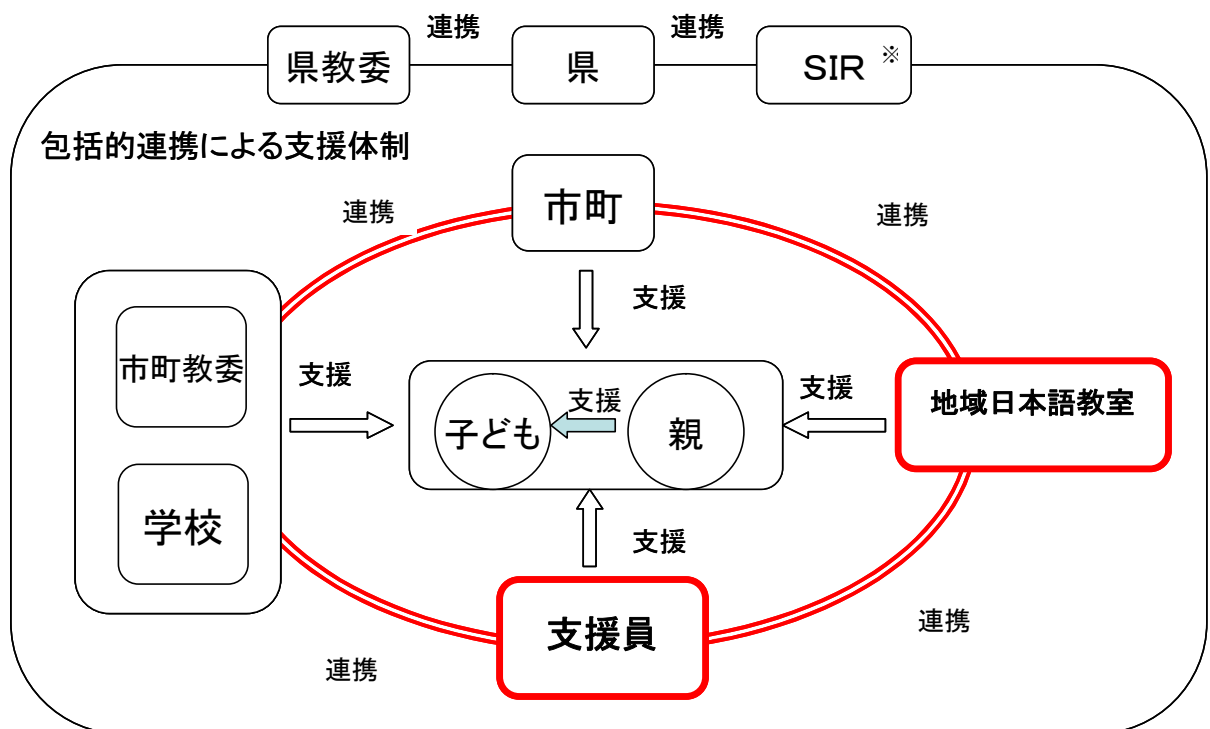
外国人の子どもの不就学を防ぎ、将来、社会で活躍できる人材を育成するため、県教育委員会と連携し、市町における地域総ぐるみの外国人親子の支援基盤の形成を促進する。

### 2 事業概要

(単位：千円)

実施項目	内容	H28 予算
支援人材育成、人材バンク構築	外国人の子どもの教育のための支援人材を県域レベルで発掘・育成して、市町等に紹介	4,000
相談業務	市町の外国人の子どもの支援関係者を対象に、相談、研修等を実施	
日本語教室を活用した外国人親子の地域支援体制整備	地域日本語教室等を活用して、外国人親子を地域で支援する体制を整備するための研修会を開催	

### 3 支援基盤イメージ図



※SIR: (公財) 静岡県国際交流協会

(参考)

## スポーツ人材活用推進事業（人材バンク）

(健康体育課)

### 1 要旨

社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用を実現するため、スポーツの分野から取組を始める。

中学校、高等学校の部活動及び地域のスポーツ教室等の指導者不足への対応を図るため、優秀な指導者を派遣できる新しいスポーツ人材バンクを構築する。

### 2 事業概要

#### (1) 人材バンク構築事業

(単位：千円)

項目	内容	H28予算
委員会設置運営	人材バンクの運営方針を協議 (構成員：県健康体育課、県体育協会、県高体連、県中体連の職員等)	326
人材バンク作成管理	人材バンクの実装及び運営 ・データバンク管理者1人配置 ・スポーツ指導者の登録、管理	3,814
コーディネーター	学校と指導者のマッチング ・メインコーディネーター1人 ・エリアコーディネーター2人	11,510
小計		15,650

#### (2) 人材派遣事業

(単位：千円)

項目	内容	H28予算
学校体育推進事業	武道や水泳などの実技指導者派遣等 ・武道・ダンス指導者派遣 ・体育実技協力者派遣(小学校対象水泳)	2,000
実技指導者派遣	小学生の体力向上に向けた実技指導者派遣 ・体の動かし方等を指導する講師を派遣	2,500
しずおか型部活動推進事業	高校の部活動への外部指導者派遣・指導者研修等 ・スポーツエキスパート(運動部外部指導者)派遣 ・文化の匠(文化部外部指導者)派遣 ・大学生による部活動支援ボランティア ・運動部活動指導の工夫・改善支援事業(国委託事業)	61,000

(3) 予算額（平成28年度）：81,150千円

### 3 取組状況

28年度：システム構築、登録指導者確保、運用開始

29年度：本格的運用開始

(参考)

## 地域スポーツクラブ推進事業

(健康体育課)

### 1 要旨

学校に希望する運動部活動がない、専門的な指導が十分に受けられない生徒のスポーツ活動を支援するため、平成28年度に、県がモデル事業として、磐田市に地域スポーツクラブの設置を委託する。

磐田市は、(株)ヤマハ発動機や静岡産業大学、市体育協会などと連携し、地域スポーツクラブの運営を行い、県は磐田市と協力してモデル事業の検証を行う。

### 2 事業概要

(1) 地域スポーツクラブの内容 (磐田市モデル事業)

項目	内容
常設のスポーツチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に希望する部活動がない生徒に対して、その種目のクラブを設置する。(ラグビー、陸上競技を予定)</li> <li>・学校に設置されている部活動が人数不足で大会に参加できない場合に、合同チームを設置し、大会出場</li> </ul>
トレセン・スポーツ塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一層の技術指導等を希望する生徒に対して、学校の運動部活動に加えて、定期的なトレーニング機会を確保し、競技力向上が可能な場を提供する。</li> </ul>
スポーツ体験教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり等のためにスポーツへの参加を希望する生徒に対して、学校の部活動の他に、自治体がスポーツ教室等にスポーツに触れる場を提供する。</li> </ul>

(2) 予算額 (平成28年度) : 15,000千円

### 3 取組状況

(1) 事務局 : 磐田市スポーツ振興室内に事務局設置

事務局員3名 (総括責任者1名、局員2名)

(2) 実施内容

○「地域スポーツクラブ (磐田スポーツ部活)」の開始式を5月13日に実施

○入部者

・陸上競技部 : 男子2人、女子16人 (豊田、豊田南の2中学)

・ラグビー部 : 9人 (他ヤマハララグビースクール生26人)

○設置種目 (常設のスポーツチーム)

種目	練習日	指導者	練習会場
ラグビー	週4日	ヤマハ発動機ラグビー部 OB等	ヤマハ発動機グラウンド 磐田市陸上競技場等
陸上	週4日	元企業陸上部監督・静産大陸上部等	磐田市陸上競技場

(その他の種目)

種目、指導者、会場などについて事務局、静岡産業大学、市体育協会と協議していく

(参考)

## 地域産業を支える実学奨励事業

(高校教育課)

### 1 要旨

社会の変化に柔軟にかつ主体的に対応できる能力と、産業界で必要となる高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区 分	内 容	H28 予算
ふじのくに 実学チャレンジ フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門高校等による学習成果発表、技術競技大会等の祭典</li> <li>・ 農水産や商工業、家庭福祉、芸術の各分野にわたり、生徒の実習、課題研究などの成果発表や作品の展示即売などを行う。</li> </ul> (10月上旬、草薙総合運動公園屋内運動場等で開催予定)	3,500
実学高度化 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい技術と乖離した実学系専門高校の設備の現状を改善</li> <li>・ 最新設備の活用による、実践的な専門教育の実施</li> <li>・ 専門的職業の育成</li> </ul>	120,000
計		123,500

### 3 その他

#### (1) 静岡県産業教育審議会答申（平成 27 年 8 月）

新しい実学を奨励するための方策として、次の 3 点が示されている。

- ア 専門的職業人として社会の変化に柔軟に対応できる能力を育成する方策
- イ 地域産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力を育成する方策
- ウ 学科改善及び施設・設備の整備の在り方並びに専門高校等に対する理解を促進する方策

#### (2) 総合教育会議（平成 27 年 12 月実施：第 4 回）

新しい実学の奨励に関する視点として、次の 3 点が示されている。

- ア 地域学を基盤とし地域等と連携した新しい実学を充実させるための方策
- イ 新しい実学に対する社会的評価を向上させるための方策
- ウ 新しい実学に関する教育体系を更に充実させるための方策



(参考)

外国人留学生受入強化事業

(大学課)

1 要旨

海外の高校生に県内大学等の魅力を直接伝えることにより、県内大学等への外国人留学生の受入強化を図る。

2 事業概要

(単位：千円)

区分	内 容	H28 予算												
日本・アジア青少年サイエンス交流事業	<p>○県内高等教育機関への留学促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア地域の高校生等を本県に招待</li> <li>・県内の理系学部を有する大学等への訪問実施</li> <li>・本県の魅力や県内大学等の情報、施設等を紹介</li> </ul> <p>※国立研究開発法人科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」助成金を活用（全額）</p> <p>(事業概要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対 象 者</td> <td>アジア地域の青少年（高校生等）</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>10 名程度</td> </tr> <tr> <td>期 間</td> <td>1 週間程度</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td> <p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学のキャンパスツアー</li> <li>・大学講義等の模擬体験</li> <li>・サイエンスイベント等の交流活動への参加</li> <li>・科学館等への訪問</li> <li>・静岡体験 など</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> <p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空券</li> <li>・宿泊費</li> <li>・食事代</li> </ul> <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス借上料</li> <li>・施設見学科</li> <li>・通訳料 など</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	事 項	内 容	対 象 者	アジア地域の青少年（高校生等）	人 数	10 名程度	期 間	1 週間程度	事業内容	<p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学のキャンパスツアー</li> <li>・大学講義等の模擬体験</li> <li>・サイエンスイベント等の交流活動への参加</li> <li>・科学館等への訪問</li> <li>・静岡体験 など</li> </ul>	事業費内訳	<p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空券</li> <li>・宿泊費</li> <li>・食事代</li> </ul> <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス借上料</li> <li>・施設見学科</li> <li>・通訳料 など</li> </ul>	3,200
	事 項	内 容												
	対 象 者	アジア地域の青少年（高校生等）												
	人 数	10 名程度												
	期 間	1 週間程度												
	事業内容	<p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学のキャンパスツアー</li> <li>・大学講義等の模擬体験</li> <li>・サイエンスイベント等の交流活動への参加</li> <li>・科学館等への訪問</li> <li>・静岡体験 など</li> </ul>												
事業費内訳	<p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空券</li> <li>・宿泊費</li> <li>・食事代</li> </ul> <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス借上料</li> <li>・施設見学科</li> <li>・通訳料 など</li> </ul>													
計		3,200												

## 資料3

### 平成28年度の検討事項及び年間スケジュール（予定）

平成28年度の「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」の検討事項及び年間スケジュール（予定）は以下のとおりである。

#### 1 検討事項

##### ○高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用

想定される論点

- ・高等教育機関相互の連携
- ・高等教育機関や研究機関の人材を教育現場に派遣 ほか

##### ○徳のある人材の育成

想定される論点

- ・読書活動の推進
- ・本物の芸術・文化に触れる機会の充実 ほか

##### ○個々の才能や個性を伸ばす多様な学習機会等の提供

想定される論点

- ・「確かな学力」の育成
- ・特別支援教育の充実 ほか

##### ○地域ぐるみ、社会総がかりで取り組む教育力の向上

想定される論点

- ・子供の貧困対策など
- ・家庭教育支援
- ・いじめ問題 ほか

#### 2 年間スケジュール（予定）

回数	開催日	議事内容
第1回	5月31日	・高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用
第2回	7月	・徳のある人材の育成
第3回	9月	・個々の才能や個性を伸ばす多様な学習機会等の提供
第4回	11月	・地域ぐるみ、社会総がかりで取り組む教育力の向上
第5回	2月	・第4回までの議論等を踏まえた協議

## 高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用に関する論点

地域の高等教育機関（大学、大学院、短期大学、高等専門学校）や研究機関は、地域社会をはじめ国際社会でも活躍できる高度な人材の育成と、知的・人的資源の地域への還元により、地域経済の振興、地域社会の発展、若者の地域定着に寄与することが期待されている。

そこで、高等教育機関相互の連携や、高等教育機関と研究機関の連携を図り、また、これら機関の知的・人的資源を一層活用することにより、本県の高等教育機能を充実させる必要がある。

### 論点1：高等教育機関等の連携

高校生が県内高等教育機関で学びたいようになるよう、その機能を強化し魅力を向上させるために、高等教育機関や研究機関が、地域や分野に応じてどのように連携することが必要か。

#### 【検討の視点】

- ・ 県内の国立、公立、私立の垣根を越えた大学、大学院等の連携促進
- ・ 県内の東部、中部、西部それぞれの地域ごとの大学、大学院等の連携促進
- ・ それぞれの専門性や強みを生かした大学等の相互補完の促進

### 論点2：高等教育機関等の知的・人的資源の活用

県内の高等教育機関等が有する研究成果や優秀な人材を地域の教育に還元するために、どのような取組が必要か。

#### 【検討の視点】

- ・ 小・中・高等学校において、高等教育機関や研究機関の教員・研究員が研究成果等をわかりやすく講義することによる交流の促進
- ・ 高等教育機関等において、小・中・高校生が本物にふれながら学ぶ機会の提供